京城日報
本日朝刊夕刊共六頁

盟邦滿洲國・世紀の感激
建國十周年祭典迫る
十五日から豪華行事

【新京十二日同盟】建國十周年を讓ぐ祭典は十五日國都新京の南嶺綜合運動場において盛大に執行されるが同日は親邦日本の承認記念日にあたり、この日午前十一時から張國務總理以下參列の各國代表および民衆代表一萬參列して十周年に皇帝陛下の萬歳を奉唱申し上げ、ついで市内各所において建國功勞者の表彰式、慶祝旗行列、また新京神社の秋季例祭本祭滿洲國承認ならびにノモンハン事件停戰記念の諸行事或はまた國民體育週間行事が行はれ十六日は再び南嶺の式場に於て祝賀會が催され午後零時廿七分を期して再び世紀の民はあげて再び世紀の感激をこめて萬歳を奉唱する そしてこの日國民の熱望を擔つて晴れの訪日飛行の途につき、夜間は慶祝提灯行列を行ひ、十七日は十周年慶祝市民行事、滿洲赤十字大會、十八日は滿洲事變記念日、十九日は建國忠靈廟秋季例祭、廿日は市民體育大會、空の記念日、廿一日は慶祝會決定式およびその公式發表會が行はれる、この絢爛な祭典を間近かに控へた十二日の國都新京では戸毎に日滿兩國旗、市内主要ケ所には慶祝塔や大アーチが電飾に輝いてたち並び、目貫通りの大慶高樓は夜は煌々たる照明に不夜城を現出、目まぐるしく都大路を縫ふ花電車や花自動車の出動が慶祝調を弥が上にも盛りあげてゐる

今村武志氏 仙臺市長受諾

【仙台電話】市長澁谷德三郎氏の任期滿了に伴ふ後任は戸塚前北海道長官に交渉したところ同氏が固辭したので引續き同市出身元樺太廳長官今村武志氏(六三)に交渉の結果十二日同氏はこれを受諾した

慶びを電波で結ぶ
放送番組

【東京電話】日滿兩國を擧げて壽ぐ滿洲建國十周年慶祝期間(十四日—十八日)多彩な慶祝行事が繰展げられるが、日滿兩國を電波で結ぶ慶祝放送の番組豫定が十二日出來た、特に十五日午前十時から新京南嶺で擧行される慶祝式典、同時に東京日比谷大音樂堂で畏くも高松宮殿下台臨のもとに擧行される慶祝會式典はそれぞれ會場から中繼放送され式典に參列しない一般國民にも會場の感銘を頒へるさらに午後七時三十分から三十分間東條首相、張滿洲國々務總理の交驩放送があり當日のプログラムは左の通り

午前六時半『朝の話』元滿洲國總務長官星野内閣書記官長、同八時國民學校放送『朝禮講話』元關東軍司令官陸軍大將菱刈隆午後一時朗讀『大陸の村造り(一)』放送員、同六時小國民の時間 日滿兒童交驩放送、同八時長唄奉曲組曲『國家の光』芳村伊四郎、宮城道雄、同八時綜合番組『建國の賦—新京より』同九時『建國十周年に際して』丁鑑修なほ期間中毎日慶祝にちなむ番組が組まれる

建國の遺兒部隊
奉天忠靈塔參拜

【奉天十二日同盟】建國縁りの地奉天に一夜を明した建國の遺兒部隊は十二日午前八時忠靈塔に參拜その遺勳を偲んだのち、奉天神社に參拜、次で十時から北大營をはじめ日滿軍事から滿洲事變當時の戰蹟を見學、滿洲建國の偉業に對する認識を新にしたのち午後四時宿舍に歸着、來奉第一日を終へた

民の聲を活用
建設的な良い意見を期待
第三回國民總常會前に 安藤議長語る

【東京電話】一億國民の總常會賛會の第三回中央協力會議は二週間ののちに近づき、すでに會議員の提出議案も出揃ひ協力會議部がその準備を急いでゐるが、今度初めて協力會議々長として國民總常會の衆議を總裁する安藤副總裁は十二日朝副總裁室で會議運營の重點を何處におくか、會議の成案をどういふ風に現はして行くか等について『誠意』そのものゝやうな態度で次のやうに語つた

協力會議の根本問題として私が一番考へてゐるのは國家の強力な要求と協力すべき國民との間を如何に調整するかといふ點である、國民の希望を全部受入れて行けばあるひは國民は滿足するかも知れないが、それでは必ず國家の目的に合致するとは限らない

國民の方に偏してもいけなければ國家に偏してもいけない、そこでどの邊に標準を置いてその間に調整して行くかゞ問題となるわけだ、議長としての私が是非ともやらねばならぬと思ふことは會議の結果だけは充分明らかにするといふことである、從來この點において遺憾がなかつたとはいへない、今度からは提出された議案や意見の良いものはその上に賛會本部の意見を附して強力なものにして政府に建議上申するとか、あるひは研究を要するものは賛會の調査に再檢討せしめ、問題によつては實踐會の方へ廻して一層よいものにしたいものだ、政府や翼政會などに移された問題についてはその結果がどうなつて行くかをはつきりさせるやうに努めたい、要するに協力會議で出るすべての聲を眞面目に受入れてこれを活用することだ

議題を一人一題に限りさらに重複するものを整理すれば議題はずつと減り審議に思ふ存分もあるかも知れないが、會議をやつて見てまづい點はどしどし改めて行く、議員はいつまで經つても一一しては不馴れな仕事だが運營委員會の經驗豊富な人々の智慧を借りて勉强するつもりだ

殘されたみち、死のみ
臆病者は即時銃殺す
赤い星、ス市死守を強調

【リスボン十一日同盟】スターリングラード郊外の諸部落を中心に空前の激戰を演じてゐた獨ソ兩軍の死鬪も獨軍の猛襲に次ぐ猛襲で各部落は相次で獨軍の手中に歸し頑強を極めたスターリングラードの防衛も近く決定的な一撃の下に崩壞せんとする氣配が濃くなつた、赤軍機關紙『赤い星』は一九一八年スターリングラードを死守した當時のツアリツィン防衛司令部の『裏切者、卑怯者は即刻銃殺に處す』との嚴命を掲載して戰線を拋棄せんとする臆病者に對しては假借なき處斷をもつて臨むべき旨を強調したのち、左の如く述べてゐる、スターリングラードの防衛者に殘された道はたゞ死あるのみ、東方へ通ずる道はすでに斷たれたボルガ河を渡る橋は爆碎され舟は悉く破壞された

湯澤内相參内 災害狀況奏上

【東京電話】湯澤内相は十二日午前九時半宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ中國九州の災害地視察狀況に關し委曲奏上、種々御下問に奉答して御前を退下し、引つゞき同十一時半官邸に東條首相を訪問災害地視察狀況を報告した

即時實權を讓れ
印度各派領袖連署で英に要請

【リスボン十一日同盟】ロイター通信ニューデリー電によれば十一日英下院におけるチャーチル首相の印度問題演説と時を同じくしてニューデリーにおいて印度各派領袖連署のもとに『英國は即時實權を印度に移讓する旨言明し一切の内紛を停止すべきこと』を要請した文書を公表した、これに署名した領袖中にはヒンヅーマハサバ總裁代理ムウケルジー以下各地方領袖を含み、右要請文書の寫は直ちにチャーチル首相およびリンリスゴー總督のもとに送附された、右要請文中には『戰爭繼續中は各派は對内的には完全な自治權を有し相互間の政治上の利害を調整するため各派代表をもつて組織する國民政府を樹立すれば獨立の要望は滿足される』と述べてゐる

獨立後の抱負
在獨ボース氏披瀝

【ベルリン十一日同盟】ドイツに滯在中の印度獨立運動の志士元國民會議派議長チャンドラ・ボース氏は十一日のウイレ・ウント・マハト誌上に一文を寄せ、獨立後の印度の政治機構に關し左の如く論じてゐる

印度が英勢力を驅逐して新しき自由を獲得したとき第一になすべきことは新政府を樹立して公共の秩序を回復することである しかして新政府は印度の統一維持に原動力となるべく充分組織化され、かつ規律ある政黨により支持されなければならない、獨立せるインド國家はすべての印度國民に宗教と文化の自由を保證し、經濟的にも完全に平等權を附與するであらう

對印處理の失策
英下院の討論活潑

【ストックホルム十一日同盟】ロンドン來電=英下院十一日の印度問題討議は勞働黨および自由黨側より相當辛辣な質問が出て久しぶりに活氣を呈した、特に勞働黨側は政府がしきりに宣傳する國民會議派の不服從命令内容なるものを發表せよと詰めより、印度事務相アメリーより列項の如き漠然とした答辯を行つたが議員は滿足せず本討論を通じて政府の印度問題處理に對する失策が談議されるに至つた感がある、主要發言次の通り

▲勞働黨シンウエル議員 國民會議派に對する非難がかくも大きいところを見ると、それには相當理由もあり根據もあることであらう、しかし政府は何も情報を提供してくれないし、これで印度問題を呑み込めとは無理ではないか

▲印度事務相アメリー シンウエル議員として政府および印度政廳が過去數週間當面した立場にあつたとしたら政府の取つた處理に少しは滿足出來ると思ふ

▲勞働黨ハイデン・ゲスト議員 國民會議派の不服從運動に關する指令内容なるものを下院に提示して欲しい

▲印度事務相アメリー それは印度政廳の決すべきことだ

▲ハイデン・ゲスト議員 印度の情勢判斷上如何なる情報が必要かは下院が決すべきことではないか

▲アメリー 印度大臣としても印度政廳としても發表出來ぬ情報が數々ある

▲自由黨ウイルフレッド・ロバーツ議員 ガンヂーはたゞの平和主義者に過ぎない、見當違ひからガンヂーやネールのやうな領袖を投獄して重大事態を惹起したことは政治の指導性がないことを暴露したもので遺憾に堪へない

英側のデマ否定
マダガスカル島總督聲明

【ビシー十一日同盟】アンネ、マダガスカル島總督は十一日聲明書を發表、同島において樞軸側に便宜を供與した事實はないと英側のデマ宣傳を否定した

英軍タナナボへ進撃

【ビシー十日同盟】當地に達した情報によればマダガスカル島に上陸した英軍は十日夕刻メバタナナの東方でベンボカ河を渡河、首都タナナボに向け進撃中で、目下同方面で戰鬪展開中である

英軍司令官はプラット

【ストックホルム十一日同盟】ロイター通信ロンドン電=英官憲筋の說明によれば、マダガスカル島作戰の英軍司令官はウイリアム・プラット將軍である、なほ同島駐屯の佛軍兵力は不明であるが、一萬以下であるとみられ、その大部分は土民兵で佛兵は一個聯隊にも足りないとされてゐる

日本海運協會
改組案決定す

【神戸電話】日本海運協會は十二日オリエンタルホテルで理事會を開催、協會改組に關する新定款を決定、十月一日より新發足するが統制委員會は運營會備船料が公定されるまではそのまゝ存續する、協會改組案の内容左の如し

一、協會役員は會長、理事長(各一名)專務理事(三名)理事(十名)監事(五名以内)評議員(三十名以上幾名)とし事務局本部を東京に移し、協會の機構は四部制、すなはち統制、總務、資材、海務部を設ける、その下に十七課を設置する

一、支部は神戸に關西支部、門司に九州支部、小樽に北海道支部を置き朝鮮、關東州にもそれぞれ支部を置く

一、近海汽船協會が從來純トン一千トン未滿の船舶所有者より徵收してゐた借款金は海運協會に包含後もこれを繼續する

一、近海汽船協會所有の船用品および統制會社株(一株五十円)三千株は海運協會で引受ける

虹口地區邦人商社
小賣物價に軍票儲備券兩建制

【上海十二日同盟】虹口地區全邦人商社では商工會議所の主唱のもとに軍票建の小賣物價の正札を九月十五日より一齊に軍票、儲備券の兩建制を實施することになつた、兩建制實施は國民政府の通貨政策に積極的協力をなすとともに中支經濟最大の問題たる物價統制の遂行に多大の寄與をなすものとして大いに期待されてゐる

九江ほか四地區で舊法幣特別交換

【漢口十二日同盟】武漢地區における舊法幣の回收は好成績裡に終了したが、國民政府財政部ではさらに來る十六日より九江、南昌、沙市、應城の四地區においても新舊法幣の特別交換を開始すると決定、儲備券による中支通貨統一はさらに一段の進展を見ることになつた

獨印協會成立
ボース氏發會式に臨席

【ベルリン十一日同盟】ハンブルグ來電によれば十一日ハンブルグにおいて獨印協會が成立、印度獨立運動の志士チャンドラ・ボース氏が右發會式に臨席し次の如き演說を行つた

今次大戰こそ印度にとつて獨立を全うすべき絶好の機會である印度は英帝國主義を信奉する敵に對し樞軸諸國と協力して戰はねばならぬ、しかしてこの戰ひにおいてわれらの勝利は確實であり英帝國の崩壞は必至である

蘭貢總領事館閉鎖

【ラングーン十二日同盟】ラングーン駐在帝國總領事館は昨年十二月八日大東亞戰爭勃發によつて職野總領事以下全館員が英官憲に逮捕拉致されて以來事實上その機能は停止してゐたが皇軍のビルマ全土平定および軍政の施行によつて總領事館の業務は終つたので十二日をもつて正式に閉鎖必要なる事務は軍政監部に引繼がれることとなつた

社說
儼たり、朝鮮總督の地位

一

拓務省の廢止に伴ふ内外地行政の一元化方式は内外地行政の一體に關する件及び朝鮮總督府に關する官制改正等により十一日の閣議で決定、情報局よりその内容が發表された。その内容を通じて、内外地の行政は内務大臣の下に一元化され、總督の權限が著るしく縮小されたかの如き印象を一般に感じ勝ちであるが、それは字句のもつ觀念を認識した意味の解釋からの一つの觀察に過ぎず、細心なる注意と冷靜なる判斷を以て、これを吟味する時に、實際においては外地行政機構の權限は何等從來と變りなきものであることをまづ理解すべきである。

二

即ち朝鮮總督は内務大臣の統理を受けて諸般の政務を施行するとあるが、これは從來拓務省官制中に朝鮮總督に對する統理權を明示してあると同じ意味でただその所管大臣が拓務大臣より内務大臣に移つたに過ぎず、その統理といふ字句も文字通り統べ理へるといつた極めて抽象的な力の弱い意味をもつに過ぎない。この監督權が内務大臣の監督を受けるといふ事實とは大いに意味を異にするもので朝鮮總督が他の外地長官に比して一段と高い地位と權限を依然として堅持してゐることを示すものである。

三

又、特殊の事務については當該事務の性質に應じ、内閣總理大臣または各省大臣の監督を受くることゝなすとあるが、この特殊の事務についての各省の監督權は一般行政に對する綜合的な所管省たる内務省が單に統理權しかもたぬのに比して、確かに矛盾があり、よしたとひ單獨に各省が監督權をもつとしても、内務省内に設置さるべき連絡委員會を通じて、その特殊事務に關する監督方針が具體化することゝなるであらうから、その各省のもつ監督權はかゝる場合内務省の所管に一應入ることとなつて、直接に監督權が及ぶことは實際問題として少いこととなる。

四

更に又必要ある場合における當該大臣の朝鮮總督に對する指示權も命令を伴ふものでない以上、問題とするに足らず、又内務大臣により内閣總理大臣を經て上奏御裁可を仰ぐといふとも單に内務省を通ずるといふ意味のものと解され、朝鮮總督の上奏權はそのために毫末の影響を受けるものではないのである。これを要するに今回の外地官制に關する官制改正によつて、朝鮮總督が新しき地位と權限を特にもつといふわけのものではなく實際上行はれて來た内外地の折衝に當つて從來内外地の慣習が成文化されたものに過ぎないのである。

五

たゞ内外地の行政が我國の戰時國内體制を確立するために、一元化に歩み寄らねばならぬことは理論的にも、實際的にも議論の餘地なき必至の大勢であつて、今回の官制改正がかかる大勢に一歩を進めたものであることは十分理解されるところである。それだけに朝鮮としては中央政府の朝鮮の特殊的立場に對する一層の認識と理解を要求せねばならないし、反對に朝鮮としても、徒らに特殊事情なる殼に閉じこもることなく、大乘的に中央政府の施策に協力するだけの覺悟をもたねばならない。

○○を壓するわが艨艟

磯山海軍報道班員撮影
海軍省許可濟第五七一號(電送)

—人—

◇淺野豐氏(同盟通信京城支社長)東條首相北鮮地方視察のため十二日午前七時五十分京城驛發、往復二週間の豫定

京城版

慰問袋を怠るな 征けぬ身の赤誠を期待

『皇軍へ眞心こもる慰問袋を送りませう』と京城府では年四回に亙つて各町總聯盟から銃後の赤誠こもる慰問袋の募集を行つてゐるが本年度夏季慰問分は府内百三十一町會から實に一萬三千袋の多きに達し係員を面喰はせたが三十袋を大型木箱に詰め數百箱が出來上つたので府廳一階で木箱の山が待機中のところ十二日から朝鮮軍愛國部へ續續出荷が始められた、女子職員が『無事戰地まで屆きますやう』と最後の荷造に優しい心遣ひをみせてゐる際から田中内務課長は

長期戰に慣らされて前線慰問が怠るやうでは皇軍將兵に對し眞に相濟まぬ次第である、京城府では年四回の募集を行つてゐるが仲々の好成績で今回も多數集り喜ばしい次第である、金目のものを多くするより眞心こもつた兵士の眞に喜ぶ品を送つて戴きたい、袋なども手製で錢へば感じもよく兵隊さんも喜ぶと思ふ、今後共どしどし慰問袋の募集に骨折つて戴きたいと語つた

【寫眞＝京城府に集つた慰問袋の山】

電車賃を節約獻金

敦義町東明學校生徒一同は二學期以來の電車賃を節約したのが十六円となり十二日東大門署を訪れ、獻金寄託した

京城秋競馬 初日成績

半島秋の人氣を一手にさらふ京城秋競馬は十二日華々しい初日の幕……

▼第五競馬ア系古抽五頭 1マツヨシ小山田二分三五秒一 2ホシトミ利國五馬身 3クニノハナ星井三馬身半、單廿円、複1廿円2廿六円3五十錢

▼第六競馬新呼特別五頭 1カツヒロ鎭西二分四五秒三 2テンユウ中野四頭馬身 3コクホウ打越三馬身半、單卅円、複1廿円五十錢2廿一円五十錢3五十錢

▼第七競馬古呼馬七頭 1ハクモリ宮越二分二九秒一 2タカフブキ中村一馬身半 3ホシノボル打越五馬身、單四十二円、複1廿三円五十錢2四十四円3五十錢

▼第八競馬古抽九頭 1タイゴライオー武田敏二分三二秒一 2タツクモ前園七馬身 3トナンマル藤田正七馬身、單百十八円、複1廿九円五十錢2四十二円五十錢3四十五円

▼第九競馬ア系古抽五頭 1ナガトスズ大久保二分三五秒二 2トウカイ清水三馬身 3ホウエン船場二馬身半、單卅円五十錢、複1廿二円五十錢2廿三円五十錢3五十錢

▼第十競馬新呼十頭 1ピシヨウ利國二分三四秒四 2クニノタカラ吉田光二馬身 3ハクセイ宮越三馬身、單廿二円五十錢、複1廿二円五十錢2卅三円3四十九円五十錢

▼第十一競馬ア系新抽四頭 1ホシヤス利國二分二四秒二 2ニタイキドウ小山田五馬身 3リキト……高木四馬身、單廿円、複1五十錢2五十錢、3五十錢

▼第十二競馬古呼五頭 1イチタイホウ古賀二分三〇秒一 2マスラオ金子頭馬身 3センシヨウ宮越五馬身、單二〇〇円、特配七円、複1七十八円五十錢2ロ三円五十錢3五十錢、總賣上高廿一萬三千八百八十円

第二日目勝馬豫想

（◎本命○對抗馬△×穴又は注意馬）

第一ア系新抽　アンテン、タマヒメ、エイ、マツマヨシ、ユウフク、ウンヨウ、ベニカツ、イシ、サダミツ、カミエキク、マルヒロ、キカク、クニサダ○コヒメ▲レコード二分〇七秒五分一

第二新抽　フクタケ、トキヨシ、◎ホシテク○カツトヨ、タマサ、タマサカエ△カヌクラ、シンハヤフサ▲レコード二分二秒五分四

第三抽籤　◎ダイニライオー△コウ、ギンペ、リウモンザン、カノコチハヤ○ハヤミカド、スピードキング▲レコード三分二三秒五分一

第四呼籤　◎ニイタカヤマ、センコウテイ、イチユリオ、ミハギ×クンフウ、ミクニ△チクシタマフミ○ワカシマ、ユウシヨウ▲レコード三分三〇秒五分二

第五新呼、ホシタカラ、コクホウカクホウ◎ジヤクリン△カンノ……

第六古呼◎キヨマサ、アツホマレコード二分」一秒五分四　シリキ、ヤマザト、クニノタカラ、シヨウエイ○テンユウ▲レ

第七ア系古抽　△クニノヒビキ◎アサカツ、ヨシカツ、イツモ、ライコウ、ミンデン○ホウエンコウヨウ▲レコード二分一六秒五分三

第八ア系新抽特別　◎マルフク、ホシヨシ、アライソ△ホシヤス○ミヨカツ、トシカツ▲レコード二分三四秒五分四

第九古抽　マツテツ、×カスガ、ナナクラ、オノガワヨウニツルホシヨシ……

第十古呼特別　ハクモリ、カツドク、シユウダン◎トリマン、コウグン、フジ、△ミハク、ハクシユン○イワカツ▲レコード二分三九秒三分

第十一ア系新抽　サンキヨウ△フウグツ、シヨウイ、トリマス○リキト、マツヒメ、タイリヨー

第十二ア系古抽　△ミヤノウラ、ムラキヨ、ワカドモ、×スズエ、イツシン、カチマス◎ユウテン、フジカツ、ロクキンテヨ、▲レコード二分〇七秒五分一　ホシハル、ヨシトモ、セイテス、タイキドウ◎クテハナ、ゴキンチヨ、ホシ○キクヒメ、▲レコード二分一六秒五分三

大東亞戰爭 聖戰美術傑作展

けふの日曜は家族揃つて（廿日まで開催）（自午前九時至午後五時）

會場 總督府美術館

觀覽料 一般二十四錢 稅共、學生團體（附＝團體は五十人以上にて國民學校生徒は十錢、中學生以上は二十錢、團體參觀申込は豫め本社事業部へ御申込のこと

主催 京城日報社 陸軍美術協會

後援 陸軍省 朝鮮總督府 朝鮮軍司令部

國防獻金

元町ナショナル電球會社從業員一同は大東亞戰爭勃發以來毎月八日の大詔奉戴日に一時間殘業をして得た手當を獻金して來たが、去る八日には卅二円九十四錢を取纏め龍山署に寄託した

三越で舞踊の夕

親切週間後の成績を省みて一層店員の精神を振めるため三越では十三日午後七時から北町加講堂で小演劇や唱歌、舞踊の夕を催す

本町管内十四日の注射

豫防チフス防注 本町署射▲十四日、黃金町二丁目（町集會所）櫻井町一二丁目（町集會所）本町五丁目、新町（朝日座前）東西軒町（高野山別院）

敢闘のタイプ嬢

街の慰問袋

第一回府廳邦文タイプ競技會は十二日午後二時から會議室で催され十七名の府内タイピストは大張切り、國民儀禮について松尾總務課長挨拶、注意事項があつて振鈴一打カチカテ、カチ……と機關銃掃射にも似た音が十分見事な腕のほどをみせたが榮冠の入賞者は次の通り、一等富田千代子（總務）二等吉田文枝（同）三等坂元美代子（同）四等祖父江長子（内務）五等清原清子（會計）正確競技入賞一等吉田文枝の諸嬢【寫眞＝タイプライター競技會】

文化

皇民の錬成へ ＝司法保護週間に際して＝

（3）鷹來教流

今や皇國日本が八紘一宇の大理想に基いて、揮禪たぐひなき大東亞共榮圏の聖業を成し遂げつゝある秋―皇國の生活も亦戰爭と緊張に脈打つてゐるのである。

一人の怠惰も、一人の落伍も許されない今日、皇民錬成の道はもとより險しい。しかし戰線將兵の勞苦を思へば何でもない。毎日の生活は正しき規律と力强き皇民錬成と行の連續である。

だからと云つて、砂をかむやうな日暮しではない。日毎に働く熱かしい戰果、あらゆる會におこなはれる指導訓練、國家は外に於て續へる教育施設、讀み書きを教へる教育施設、國家は外に於て古の大戰爭を遂行しながら、しかもなほ内にあつて限りなき仁愛の手をさしのべて彼等の心境を一歩一歩正しき道に押し上げて行く。かくて彼等は感謝と歡喜の心を以て皇民錬成の生活に、命の力を……

一日だに安のみこゝろ安めずで死なしし思へばあきらめ難し

ここにして新たなりたらちねの母の心にわれはそむきし

貧しき家營ぎて飽かず生活するふるさとの人のいまはこひしき

いとし子を抱き見せつゝほゝ笑みし妻が心の如何にあるらし

このやうに歌へ上げられた彼等は、希望に胸ふくらませて刑務所の門を送り出される。然し皇民錬成の仕上げの舞台は社會である。

彼等が燃ゆるが如き希望を抱いてこの舞台に躍り出たとしても、迎へる人の手が、氷の如く冷たく、毛虫にさはる時のやうにふるへてゐたならば、すがる者の氣持はどうだらうか。

大東亞戰爭は世界新秩序建設の聖戰であり、皇國一億の總力を擧げて戰ひ拔き勝ち拔かねばならぬ戰である。全一億の戰鬪をぶちまけて、この聖戰を完遂するのである。

從つて一億の中に一人の落伍者があるとすればそれはただ本人のみならず皇國全體の不幸である。我々は道義日本の面目にかけてもわが同胞の中から犯罪による一人の落伍者も出してはならない。

かかるおそれあるものを國體の本義に徹せしめ、以て皇國に捧げること―司法保護の使命はここにある。

畏くも明治大帝は『天下億兆一人もその處を得ざる時は朕が罪なれば』と仰せ給うた。此大御心を奉體し、國民の各々がその所を得るやう、あらゆる努力を捧げることは、全國民の責務であると共に聖戰完遂の道である。（完）

京日俳壇 秋季雑詠 高濱虛子選

療院にすゝしみ……

大東亞戰爭の繼續に……

（※選句欄：釜山 藤吉鳴水、京城 永田一捜、谷川 櫻子、同 佐野 雪子、京城 中矢 佳石 ほか）

竪の家さゝやかながら瓦蔓

苑内によき日溜あり鷄の花

虫を聴くいたみ古りたる椅子を出す

秋風や新刊の山に遊ぶべく

芭蕉葉の露滴百の靜さかな

甘んじて別莊番や鳳仙花

秋立つやくだゝ荷擔んで江の舟

戸あくればハタ／＼の來る住居かな

旅窓はいづれ放哉ホトトギス

晝寢に昨日の如く今日も聞ゆ

大隈侯來鮮延期

九月廿日頃來鮮の豫定であつた文明協會長大隈信常侯はその後都合により延期となり、廿七日朝釜山着……

城寶演藝部

株式會社京城寶塚劇場ではかねて『城寶演藝部』の設立を準備中であつたが東寶演藝配給會社、吉本興業、滿洲演藝協會との提携連絡成り、今後半島演劇演藝の配給興行に萬全を期することになつた

なほ城寶演藝部の一部門として『各種慰問演藝の無料提供』に併せて『城寶移動演藝奉仕隊』を組織することになつた

廿八日午後四時四十五分京城驛着半島ホテルに入り、廿九、卅の兩日滯城して十月一日午前四時卅六分京城驛發『興亞』で滿洲へ赴くと變更された

不連續線

犯罪額

ある學者の調べによると、犯罪による一年間の損害は、日本においては三千億円に達するといふ。無論、これは被害者の蒙つた財產上の損害のみでなく、搜査に要する費用も含み、被害者及び犯人の受くる直接、間接の失費をも込めての金額である。

そこで、もし犯罪を二割だけ減少させるとすれば、六億円といふ金が浮かび上ることになり、一台八萬円の飛行機なら、七千五百台を建造することが出來る。

司法保護の必要はこゝにもあるが、一方、米國の一年間の犯罪による損害が實に五百億円といふ膨大な數字であると聞けば、こゝにも米國の没落の禍因が潛んでゐる。

映畫ニュース

◆朝映新作二映畫製作陣決定 總力聯盟企畫、徵兵一周年記念作品『我等今ぞ征く』は製作高島金次、演出朴基采、撮影梁世雄、また音樂短篇作品『半島の乙女』は製作河濟逸男、演出李炳逸、撮影金井成一で、いづれも二十日頃から撮影に着手する

文化だより

◇中田晴康氏（朝映撮影所長）業務打合せのため上京中今月末歸城の豫定

◇鈴木英輔氏（日大藝術科教授、劇作演出家）滿洲國の新設國策劇團指導のため目下新京に滯在中であるが、歸途廿三日頃京城に立寄り、半島演劇界とも種々折衝懇談する

新刊紹介

▲文學京都（成瀨無極編）國外に對しては勿論、國内觀光宣傳の性格は從來の物見遊山から正しい眞の歷史と傳統と文化の深味をもつたものでなければならない、本書『文學京都』はこの意味に於て有意義な企てと謂ふべく收録された文學作品、隨筆小品文も作家、學者、美術家の手に成る京都に關係したものばかりを抽出してゐるだけに京都を各面から見られる（非賣品、京都・中京・河原町御池、京都市役所）

愛の赤道【209】

竹田敏彥（作）　都竹伸一（繪）

二人の被害者（七）

『奧さんが？』

大尉も、すぐ怪訝に訊ねた。

『大槻君にですか』

『えゝ、さうですわ』

『そんなことありませんよ……それは何かの間違ひですよ』

大尉は、冗談ぢやないといつたやうな顏で佐智子の方へ笑つてみせた。が佐智子は、周圍の人達同樣まだそんなことをいつてゐる大尉をまでも、恨めしげに見上げ、

『間違ひなんかございません……もう來月あたりは、お子さんがお生れになりますわ』

『ほんとですか』

大尉も、そこまで、はつきりいはれてみると、自分の見解にも、多少自信を失ひ、

『しかし、このくれ頃までは、始終大槻とあちらで會つてゐましたが、そんな話は少しも聞きませんよ……』

と、いつたが、

佐智子は、昨日までの懷疑に對しても、二郎の生活の裏を語るやうなことは、今までつとめて避け通してきたのだが、大尉からこんな風にいはれてみると、半ばは意地、半ばは何かを訴へずにゐられないやうな、亂れた感情にそゝられて、つい、われにもなく、こんな皮肉な言葉が迸り出た。

『そんな人はどこにもゐませんでしたよ』

大尉は、はつきり否へたが、

『だいいち細君を貰ふほどのひまがない筈ですよ、彼がダバオから東京へ歸つたのは、十一月の上旬ですよ』

『御親戚の方ですもの、前から決まつていらしつたんぢやございません。それに、もうずつとあちらに、お世話になつてゐらしつたお從妹さんだと伺ひましたもの』

『あちらにゐた從妹？』

『さうです、千鶴子樣とか仰有いましたわ』

『千鶴子！』

大尉の聲も、さすがに、はづんだ。そして、

『あの人が、大槻君の細君？そ、そんな筈は』

『いいえ、もうただいまではお產の準備で御近所に別居していらつしやいます。私二度ばかり大槻樣のことでお手紙もいただきましたわ』

『……』

丸山大尉は、もはや言葉もなく、當時、しきりに自分に千鶴子をすすめてゐた二郎の言葉を思ひ出しながら、

『まさか。大槻二郎が、そんな不徹底だらうか……』

半信半疑で、佐智子の潤んだ顏を見まもつた。

『さうだ、あなたが仰有るのは、大槻君の兄さんのことですよ。兄さんなら、昨年の十一月に、結婚なすつたさうだから、さうです、ちやうど、もう赤ちやんのできかかる時分です、さうですよ』

『いゝえ……お兄さまのことなら私もよく存じ上げてをりますわ』

『可訝しいですね……私はつい出發前日まで大槻君に會つてゐたんですよ。あれは十二月の初めですから來月にも子供が生れるとすれば、もうその前から結婚してゐなければならない筈ぢやありませんか……私が訪ねていつた時にも興の離れで、神妙に、部屋住みらしく、獨りで暮がつてゐましたよ』

大尉はかういつて、二郎のために辯明してゐたが、ふと、あの日のことにいひ及ぶと、その時しとやかに茶をいれて現れた、千鶴子の可憐なまでに紅潮した顏が、いぢらしく瞼に泛ぶのだつた。

『ぢや、もうその時に、奧樣が、いらしつたのぢやございません』

ラヂオ（十三日）

朝 六・三〇『乃木將軍の思ひ出』陸軍少將長谷川正道、『朗吟』金州城、法庫門營中作、富嶽』除靈山、凱旋、佐々木孝吉▲八・三〇勝利の記錄（第三十九報）▲九・〇〇（大）音絃樂、大阪放送管絃樂團▲一〇・〇〇週間錄音

晝 〇・三〇（名）マンドリン合奏、名古屋マンドリン樂團▲一・〇〇（大）物語『那須野が原の村莊』木村毅原作、前田喜明脚色山村聰▲一・四〇舞台中繼―新橋演舞場より―『一つの林檎』▲二・三〇（城）京城秋季競馬實況（釜山・大邱を除く）―京城競馬場より中繼―▲三・四五（城）京城實業野球秋季聯盟戰―京城野球場より中繼―

夜 六・三〇（名）わらべうた（釜山、光州、清津、咸興、光州を除く）名古屋コドモ唱歌隊、名古屋放送合唱團、伴奏名古屋放送管絃樂團、指揮高階哲夫▲六・三〇日滿戰爭と平壤（平壤）沖原清▲六・三〇滿州事變前後を偲びて（清津）羅南師團兵務部長中代豐治郎▲六・三〇經濟事犯の絕滅を期して（咸興）咸興地方法院檢事首席柳五郎▲六・三〇戰時下における農民の覺悟（光州）全南農務課長成田泉▲七・二〇週間戰局『唱歌集』秋の山、山の雀、水師營の會見、いてふ、案山子、村の鍛冶屋＝日本放送合唱團▲八・〇〇講談『乃木將軍と恢事嵐雷』木村毅作、寶井馬琴▲ピアノ獨奏、『軍歌愛國歌集』和田憲編曲、和田豐▲一〇・〇〇時報・今日の戰況とニュース

夕刊 京城日報

帝國の純領土として 半島の大いなる飛躍

大東亞省官制案發表に當り 情報課長談發表

大東亞省官制案要綱の發表に伴ひ朝鮮總督府の施政上の性格が明確化されたが總督府では十二日午後一時州分次の通り倉島情報課長談を發表、大東亞省の設置と朝鮮總督府の立場について闡明した、即ち朝鮮總督府は從來拓務省と連絡のうへ綜合行政を行つて來たものであるが、拓務省の廢止に變つて内務省と緊密なる連絡を保持してゆくものであるから實質的に何等の變化がないばかりか、今回の措置により朝鮮が純帝國領土として一大飛躍をなしたことにより大いなる意義を見出すべきであるとなし、在鮮官民の一層の奮起協力を希望した

倉島情報課長談

昨十二日閣議において大東亞省官制案要綱決定せられ、拓務省の廢止に伴ひ朝鮮總督の施政は内務大臣の統理を受くるに至つたことは極めて當然にして大東亞戰爭開始以來强調せられたる内外地行政一元化の實現として眞に慶賀に堪へないところである

即ち今回の措置による内閣所管は從來の拓相所管がその廢止によつて内務省へ移管せられ、拓務大臣の統理が内務大臣の統理に移行したるに止まり、その内容において從前と何等變る所はない

ただこれに伴つて從來[illegible]つき總督と内閣總理大臣[illegible]新たな關係が定められることになつた譯であるが、これは戰時下當然の必要により從來實際に行はれつゝあつた行政上の慣習が成文化せられたるものに過ぎぬ、然もこれ等内鮮關係の各種行政事務の省互連絡の爲に内務省内に連絡委員會が設置せられることになつたことは一層朝鮮と内地との關係を緊密ならしむるものと確信する次第である

要するに今回の制度ともいふべき改正は朝鮮が從來の外地的取扱ひから帝國の純領土として大東亞共榮圏の中核體たる考へ方へと飛躍せる點に重大意義を存し、國よりこれによつて朝鮮總督の地位に何等の變更ないのであつて、今後の朝鮮としては内地と緊密な連絡の下にますます綜合行政の妙味を發揮し戰爭完遂に邁進すべきである

在鮮官民は深くこの意義の存する所に想ひを致し一層決意を新にして征戰下朝鮮が負荷する實務の完遂に協力せられんことを希望して止まない

第二回東亞都市大會ひらく

【新京十二日同盟】第二回東亞都市大會第一日の十二日は午前十時から新京ヤマトホテル特設會場で開幕

【日本側】＝東京、京都、大阪、堺、横濱、川崎、神戸、尼ケ崎、佐世保、名古屋、廣島、呉、福岡、小倉、八幡、札幌、京城、平壤、台北、大連の二十市、【支那側】＝南京、上海、北京、天津、武漢、青島、杭州、濟南、太原、徐州、張家口の十一市、【滿洲側】＝新京、奉天、ハルビン、吉林、撫順、安東、鞍山牡丹江の八市、人口二十萬以上の三十九都市の市長市會議長ら百十餘名、來賓として張國務總理、各部大臣、軍官民代表多數出席

金新京特別市長を議長に推薦、同議長より各都市代表者を紹介、主催都市を代表して谷田奉天副市長

皇軍感謝決議 可決 第一日議事

【新京十二日同盟】第二回東亞大都市大會は十二日午前十時より新京ヤマトホテルに開會式を擧行、午後一時卅分開會大東亞戰爭完遂のため活躍しつつある日本陸海軍將兵に對する感謝決議を滿場一致採決、議事に入り

（１）參加都市の[illegible]大の件（京都、名古屋提出）

（２）參加大都市間の連絡緊密化に關する件（橫濱、天津提出）

（３）[illegible]交換の件（北京）京城提出

（４）東亞大都市の施設ならびに研究實費料交換の件（札幌、ハルビン提出）

（５）大東亞共榮圏内における都市建設に關する件（太原、新京吉林提出）

（６）大東亞共榮圏内における各都市の特殊使命都市政策ならびに東亞大都市間における相互文化宣揚連繫に關する件（東京提出）

（７）都市間の共同防疫に關する件（北京、天津提出）

など提出議案を中心に各市長から説明質問などがあつて第一日終了、なほ午後六時から國務總理大臣の招待晩餐會に臨んだ

皇軍に對する感謝決議

大東亞戰爭勃發以來茲に九有餘月陸に海に空に赫々たる戰果のよつて來るもの一として皇軍將兵の忠勇義烈にして克く困苦缺乏に堪へ、酷寒酷暑を冒し、山林、海岸、天空を問はず戰はれたる勞苦の賜物ならざるはなし、茲に滿洲建國十周年を迎へ滿洲國の國都新京にあつて第二回東亞大都市大會の開催せらるるに當り本大會は大會の決議をもつて大東亞建設のため、陸海空戰に勇敢敢鬪、ゝある皇軍將兵の御勞苦に對し畏心感謝を致し武運長久をお祈り申上ぐると共に、この間滿洲建國以來今次大東亞戰爭に亘り、挺身散華せられたる英靈に對し恭しく哀弔の意を示す

敵四個軍を捕捉殲滅

江西省作戰軍 三ケ月の大戰果

江西省方面作戰幕僚談

【漢口十一日同盟】江西方面作戰軍では十一日浙贛作戰につき左の如き幕僚談を發表した

五月下旬わが軍は浙江省方面作戰軍に呼應し突如南昌方面より攻勢を開始して以來三ケ月、敵四個軍を撃滅し、西部第三戰區軍事施設を潰滅したのである

本作戰の影響はひとり重慶のみならず米英聯合國側にとつても極めて深刻なるものがある、すなはち大東亞戰爭勃發以來相つぐ敗戰に局面を糊塗して國民への信望を繋ぎ戰局を有利に導かんとの野心のもとに第三戰區をその空軍遊撃基地にせんとした米國の企圖ならびに全大陸沿岸を封ぜられて今や全く孤立化し斷末魔の足掻きをつゞける重慶政權の對米合作などといふ夢想はここに完全に潰滅されたのであつて、これ大御稜威のもと、忠勇なる皇軍將兵の勇戰奮鬪の賜にほかならない、敵第三戰區は事變勃發以來最近に至るまで重慶戰略の據點乃至沿海基地として、特に近くはわが本土空襲の遊撃基地たらしめんとするなど極めて重要視されてゐた、本作戰實行を決意するや、わが軍は着々周到なる準備を開始したのである、以下本作戰經過の概要を述べることにする

豪雨、酷熱と鬪ふ三ケ月

浙江方面作戰軍は五月十五日行動を開始し一ケ月後の六月十四日に敵第三戰區司令部の本據廣信を屠つたのである、杭州より廣信まで三百數十キロ、大小戰鬪數十回、山あり川あり、加ふるに連日にわたる豪雨のため戰場一帶は泥濘膝を沒するは愚か腹さへ浸す氾水の湖と化し、これを克服してこの大戰果を獲得した、同方面作戰軍の勞苦には[illegible]の下[illegible]するのである、しかしてわが江西省[illegible]降りつづく豪雨を衝いて五月卅一日行動を開始し、濁流滔々たる撫河の決死渡河を敢行し、作戰終了の八月下旬に至るまで豪雨と大洪水と酷熱に惱まされつづけたのである、この方面における出水氾濫状況は十數年來の豪雨といはれるだけあつて言語に絶するものであつた、この大洪水に惱まされ、これを克服しつゝ敵陣に挺身する各部隊の辛勞たるや到底筆舌に盡し難きものがあつた、しかしながら敵第三戰區撃滅の意氣に燃ゆるわが將兵の士氣は軒昂たるものあり遂に第九戰區より第三戰區の救援に來た第七十九軍、第四軍、第五十八軍および第三戰區在來の第百軍、計四個軍を撃滅し去つたのである、ここに本作戰を時期的に分類し概説すれば概ね次の如くである

一、第七十九軍撃滅戰

わが軍は五月卅一日早暁南昌南方における撫河敵前渡河に成功し、敵第七十九師および保安團二個團を撃破するとともに、勢ひに乘じて第九戰區より東進し來れる敵第七十九軍を臨川南方地區に捕捉撃滅、さらに逃げる敵を追撃し出動以來六月十二日に至る十三日をもつてこれを屠り終つたのである

二、貴溪、鷹潭攻略戰

第三戰區司令長官顧祝同はわが進撃に周章狼狽、急遽第百軍をして貴溪東方浙贛線上の要衝たる鷹潭附近に集結せしめ浙贛線上のわが東進部隊を阻止せんとしたが、これまたわが軍の好餌と化し六月十五日鷹潭、十六日貴溪とつぎつぎに陷落し七月一日は横峰において浙江省方面よりの西進部隊と相合し遂に浙贛線打通を完成したのである

三、第四軍の撃滅戰

第九戰區司令長官薛岳はさきに第三戰區救援のため派遣せる第七十九軍の補充としてさらに第四軍を增派し臨川奪回を企圖したが、わが軍は六月二十五日夜半臨川、崇仁[illegible]方面よりの大攻勢を開始し建昌、宜黄以北の宜黄水右岸地區において遂次包圍圏を壓縮し、同廿九日に至り遂にこれを宜黄、梨溪間に捕捉撃滅したのである

四、更に第五軍撃碎戰

わが軍の第四軍撃滅開始せらるるに當り豐城東南地區一帶にありたる第五十八軍はわが軍の側背にあつて戰略的優位を占め、かつ重慶よりわが軍の側面に對する出撃態勢をとげながら徒らにわが猛威に戰慄するのみで敢て第四軍を見殺しにしてゐたのであつたが、わが軍は敵第四軍撃滅後、さらに鋒を轉じて七月五日第五十八軍攻撃の火蓋を切り之を樟樹鎭、新淦北方地區に追撃し敵をして全く支離滅裂に陷らしめ甚大なる損害を與へたのである、遺棄死體のみでも一萬五千七百餘、捕虜二千二百餘を算へ山砲、機關砲、迫擊砲、輕機、小銃など鹵獲兵器その他軍用資材また尨大なる數量を遺棄し、敵第三戰區の抗戰組織を根柢より覆滅し斷じてその再建を許さざるまでに至らしめたのである、かくてわが軍は完全に所期の目的を達成し全將兵はいよいよ重慶軍に對する必勝の信念を固めて原駐地に凱歸したのであるが、勝つて兜の緒をしめますます自重、日夜重慶殲滅の錬成に精進してゐる

建國忠靈廟合祀祭

【新京十二日同盟】建國忠靈廟第二回合祀祭は十二日午前十時新合祀遺族四五十四名、張國務總理、橋本[illegible]、梅津關東軍司令官、各部大臣以下[illegible]、[illegible]參列のもとに嚴かに執行、畏くも皇帝陛下には新祭神ならびに建國の忠魂に敬虔な祈りを捧げさせ給ひ、[illegible]祭事はもとより[illegible]に参列するとゝもに建國の礎となつた英靈に心からなる感謝の祈りを捧げた

滿洲國皇帝陛下・建國忠靈廟御親拜（新京より護電送）

更に五要衝を占領

獨軍、ス市へ三方から突入

【ストツクホルム特電】（十一日發）モスコー情報によればスターリングラードのソ聯軍要塞線深く南北西の三方面から突入しつつあるドイツ軍は人口稠密せる五村落を奪取、ソ聯軍の頑强なる抵抗を排除進撃を續け機甲部隊先鋒部隊は十一日又もスターリングラード市内に突入、新たなるソ聯軍戰線を攻略、これを擴張に市内に戰果を擴大しつつあり、これに對してソ聯軍は歩一歩後退してをり後退に當つてはソ聯軍はあらゆる通信機關交通機關、建物等を破壞、ドイツ軍の進撃を阻まんとしてゐるが、一面これは最後の一兵に至るまで同市死守のソ聯軍の悲壯な決意を示すものと見られてゐる

獨軍、テレク河南岸に達す

【ストツクホルム特電】（十一日發）中部コーカサスのドイツ軍機械化部隊はグローズヌイ目指して目下猛進撃中であるが、モスコー來電によればソ聯側も十日遂にドイツ軍のテレク河南岸一帶を確保するに至つた旨確認した、モズドク西南方四十粁の地點においても目下猛烈な激戰が展開されてゐる

米、南米視察團派遣

【リスボン十一日同盟】ワシントン來電によれば、アメリカ政府は今回南米ブロック强化に資するため海軍長官ノックスを團長とする視察團を南米諸國に派遣することに決した、右に關しノックスはつぎの如く言明した

余は近く南米諸國を訪問しリオデジャネイロをはじめ南米諸都市視察旅行の途にのぼる豫定である、本旅行においては南米諸國の重要諸都市の訪問はもちろん

友邦の盛典を祝ふ

滿洲國建國十周年 十五日半島の式典

[illegible]滿洲國の輝かしい前進を祝ふ『滿洲建國十周年記念日』はあと數日に迫つたが、國民總力朝鮮、京畿、京城三聯盟ではめでたい友邦のこの記念日を慶祝するため記念日當日の十五日午前九時から約一時間に亘り京城府民館中講堂で次のごとく盛大な慶祝式を行ふこととなつた、一般者もなるべく參列して慶祝の意を表することを歡迎してゐる

式次第 （一）宮城遙拜（二）[illegible]（三）大日本帝國々歌齊唱（四）滿洲帝國々歌吹奏（五）滿洲國總領事の挨拶（六）金滿洲國[illegible]長の式辭（七）滿洲名譽總領事の挨拶（八）朝鮮、京畿、京城總力聯盟代表、滿建國十周年慶祝[illegible]、中華民國總領事（八）大日本帝國[illegible]

天皇陛下萬歲（九）滿洲帝國皇帝陛下萬歲

領事館で祝賀會

なほ當日は慶國の輝古の祝典を寿ぎ滿洲[illegible]館では午前十一時から金名譽總領事をはじめ在城居留民二百餘名が[illegible]に集り、建國十周年を[illegible]する祝賀會を盛大に行ふ

松井大將、岡田議長 板垣軍司令官を訪問

南大[illegible]陣地を視察する

滯城中の翼賛政治會總裁松井石根大將は十二日午前十一時半龍山官邸に板垣軍司令官を訪問、また衆議院議長岡田忠彦氏も同日板垣軍司令官を訪問、ともに正午から軍司令官招待の午餐會に臨み種々懇談を遂げた、なほ岡田議長は午後四時五十八分京城驛發〃のぞみ〃で、松井大將は七時十五分發京城發滿洲視察の車で新京へ向ふ

朝鮮 京城 兩商議會頭 後任に穗積眞六郎氏

朝鮮商議會頭兼京城商議會頭松原純一氏は勇退期[illegible]あつゝある皇軍將兵の御勞苦に對し畏心感謝を致し武運長久をお祈り申上ぐると

朝鮮商議會頭および之れに附隨する各種公職に携はつてゐる關係上、本來の使命たる殖產銀行業務に專任しがたい憾みがあるので、適當な機會をみて兩會頭を勇退すべく、かねて辭意を固めてゐたが、今回前總督府殖産局長穗積眞六郎氏が京城商議の會頭に就任したのでこれを機會に人格、識見、手腕ともに申分なき同氏に兩會頭の椅子を讓るべく決意し、このほど正式に辭表を提出した、よつて京城商議では十二日午後二時から同所において臨時役員會を開き、同氏辭任に伴ふ補缺選擧執行その他について協議した結果、來る十六日評議員總會を招集して後任選擧方法を決定することになつた、なほ朝鮮商議においても目下東上中の田村理事の歸任を俟つて臨時總會を招集し、穗積會頭就任に執行するが、穗積前殖産局長の兩會頭就任はあらゆる情勢よりみて確定的とみられる

【寫眞＝穗積眞六郎氏】

ジヤワ原住民 愈よ斷食に入る

【バタビヤ十二日同盟】回教徒たるジヤワ原住民は十一日夜から斷食『プアサ』に入り十二日から向ふ卅日間日の出から日沒まで一切食事を攝らぬわけであるが、この斷食中は體力が減少するので教育局では一部特殊のものを除き全島の小學校、中等學校を十一日から『プアサ』明けのジヤワ正月まで卅六日間休校することとなつた、斷食期間中も業をつゞけるのはバタビヤ技術員養成所および最近再開した中等學校、師範學校の一部でこれらも戰前は同樣に休校してゐたが今回邦人教師を迎へて生徒の向學心は非常に旺盛で斷食に入つても是非授業をつゞけて欲しいといふ熱烈なる要望により休校しないことになつたものである

勤勞道の確立

田原 實

日本人は古來より、天賦の國土を觀察し、その國土の上で眞摯な宗教的態度を以て勤勞を營んで來た。しかも勤勞は天業翼賛の大道であり『つとめ―務―勤―努』とは『君に仕ふる』ことである。從つて勤勞尊重の精神は我が國における生產、創造、發展の『むすび』の心であり斯くて勤勞資質は日本人の性格の中に流れ來つたのである

今から約百七十年前德川家治の時代に、和蘭使節に隨行して渡來したツンベルグといふ醫學者の日本紀行記の中に『日本人は活動的で、誠實で、自勇氣に富んでゐる』と日本人の性格を讃へてゐる。日本精神たる勤勞精神は先に述べたる如く一勤勞的であつた。随つて勤勞者もかゝる思想の影響を受けて唯物的、或は功利的な勤勞觀に支配されるところ尠くなかつたのである。

を推し特にその勤勞なることを讃してゐる。然るに今日の實情は如何。明治年間わが國に輸入せられた西洋思想は合理主義であり、實利主義であり、個人主義であり

『つとめ』の精神である。『職域奉公』とはこの精神を以て精進することである。若し日本人全體に克くこの正しい勤勞道が徹底して居るならば、勞務者の移動防止對策や勞務動員等の如きものは不要であるべきはずである。この意味において吾人は今後大いに反省すべき餘地あるを思ふのである。

南方における資源開發及び生產は勞力依存度頗る高いに拘らず、原住民は概ね怠惰であり、無氣力である。然るにこれ等數億の勞務資源の活用如何が大東亞の進展に影響する所甚大なるべきは論を俟たない。指導者たる日本人の責任亦大なりといふべきである。この意味に於て日本人が南方に進出し、原住民に正しい勤勞の生き方を實踐により指導するといふことは實に大切なことである。しかしながら、現在朝鮮より南方に進出せんと希望する者の中には、極めて功利的な動機に基く者が尠くないことは遺憾に堪へない。甚だしきに至つては一攫千金を夢みて南方を志願する者さへあるのである。特に朝鮮における勤勞道の確立の急務たるを痛感する所以である。

（筆者は本府勞務課事務官）

日銀異動

【東京電話】日銀では十一日左の人事異動を發表した（括弧内は舊職）

▲調査局次長（外事局勤務）石川清彥▲上海駐在（高松支店次長）片岡亮一▲國際局調査課長（文書局勤務）西野正一▲松江支店長（調査役）今井[illegible]平

一人一

◇土屋傳作氏（全鮮市場部長）十六日から約四日間慶南方面へ早害視察のため出張

◇佐々木謙三大佐（朝鮮軍司令部附）新任挨拶のため十二日來社

◇佐々木仁氏（國際電氣通信京城支所長）視察の爲元山及咸興へ出張十六日歸城の豫定

【寫眞＝佐々木大佐】

時の録音

次第に目鼻のついて來る大東亞省に、大東亞建設の目標もまたつく。

×

終に、朝鮮が外地扱ひから脫けたところの意義を考ふべし。

×

内地と一體になりての誓願、田中總監の者もまた至當。

×

チャーチル、今になつても、なほ〃對印政策不變〃を說く。

×

その言、衣の下に鎧を覗かせてゐるとは氣づかざるや。

×

但し、古い破れた鎧をね。

×

松井大將の說く内鮮一體の道は、大アジヤにつながる。